

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立高等学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立中津高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月9日(木) 14:00~16:00
- 3 開催場所 岐阜県立中津高等学校 大会議室
- 4 参加者

会長	田島 雅子	中津川市教育委員
副会長	糸魚川謙一	元全日制PTA会長
委員	楯 明夫	中津川市第二中学校校長(書面参加)
	西尾 晃司	元定時制同窓会長
	深津 広樹	中津川市役所 定住推進部 市民協働課 次長兼課長
	吉村 知央	全日制PTA副会長
	松下 嘉広	一般社団法人ヒガシミノ団地代表理事
	水野 賢一	同窓会長・中津川市議会議員
	宮良 淳子	中京学院大学教授
	吉村あづさ	図書館ボランティア養成コーディネーター
学校側	市川 浩通	校長
	岩島 章雄	副校長
	磯部 典之	事務部長
	渡邊 卓哉	教頭
	喜多川 博	教務主任
	青山 理	生徒支援主事
	小栗 毅石	進路支援主事
	西尾 靖彦	定時制教務主任
	岡島 大祐	定時制生徒指導主事

5 会議の概要(協議事項)

- ・校長より
 - ・学校評議員会と学校運営協議会の違いについて
学校運営協議会は意見をいただいて、学校を改善していく委員会である。
 - ・来年度からの学校のシステムの変更について
文化祭と体育祭(応援合戦廃止)の分割←安全面の考慮
中間考査の廃止と評価テストの実施←評価の観点の変化、個別最適な学習、入試の変化
学習習慣の構築、生活への主体的な取り組み

(1) 令和4年度自己評価・学校関係者評価について

【全日制】

ア. 教務部

意見1：2年生の家庭学習時間が少ないとあるがどれくらいか？

→2時間程である。1年生と2年生の間に差がない。

意見2：宿題はあるか？

→ある。1～1.5時間くらい。自主学習の時間を+1.5時間望みたいが、できていない。

意見3：自分で学習を身につける指導は？

→通信や学年会から発信してもらったり、二者懇談等で伝えたりしている。

意見4：成績上位者はどれくらい勉強していたか？

この大学に合格した生徒は何時間勉強していたという具体的なデータがあった方が
良い。ただ何時間勉強しなさいというだけではやる気が出ない。

→模試での目標点をつくる指導はしている。

意見5：自分の子どもの学校は、勉強時間を学年団で集計、公表している。

中間考査を廃止し、評価テストのサイクルを短くするという点は生徒の目線に立てて
いる。高大連携には今後もぜひ参加してほしい。

イ. 生徒支援部

意見1：制服について、何十年も続いていることに敬意を表する。他の地域の人から見ると「変
なデザイン」と受け止められることもある。生徒からの声は上がっているのか？

→声は上がっているが、デザインそのものよりも、制服の上や下に着る服についての要望
の方が多い。

意見2：個人的には、中津高の女子の制服はこのままでいてほしい。動きやすく、冬は暖か
いという視点も取り入れてほしい。

ウ. 進路支援部

意見1：ゲストティーチャーとして3日間参加した。生徒に課題を提示し、生徒に考えさせ、
プレゼンさせ、そのアドバイスをした。生徒は熱心に考え、よく解答してくれた。感
心した。今年度の3年生が、3年間コロナの中でどのように過ごしてきたか。1年生
合同企業説明会に自分も参加するので、楽しみにしている。コロナで入試に影響した
生徒は？

→1人共通テストで追試を受けたが、大きな影響はなかった。

意見2：地域探究、地域貢献にとっても期待している。駅前のイルミネーション、有効活用に参加
してくれて感謝している。生徒の参加への積極性はどうか？

→積極的ではない。教師から何度か声をかけて集まるが、やればしっかりやってくれる。

【定時制】

ア. 教務部

・特になし

イ. 生徒指導部

- ・特になし

ウ. 進路指導部

意見1：インターンシップを含めたキャリア支援にもう少し注力してほしい。インターンシップについて企業は積極的だが学校が遠慮しているのではないか。次年度から恵那南高校が週1回企業に行って活動する時間を設ける。

(2) 令和5年度マニフェスト（案）について

(3) その他

- ①体育祭日程の変更、中間考査廃止等説明
- ②教育課程表、校務運営組織、各種委員会について
- ③15:10より「2年生探究学習発表会の参観」

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では成果と課題について全委員より具体的な評価と助言を得ることができた。成果を今後の本校の魅力化・活性化につなげるようにしたい。本校の取組について、あらためて全教職員が共通認識を持ちその魅力を地域に広く発信していきたい。中津高校として魅力を増やし、将来的に更に発展できる学校づくりのため、継続的に支援、協力をいただけるようにしたい。今後も生徒に軸足を置いた学校運営に取り組み、地域との連携を大切にしたい教育活動を推進したい。